

【檜原村】

林業の担い手を増やして 豊かな森林を守る



檜原村は東京都のもっとも西に位置し、村の面積の約93%が森林です。近年は、国産材の利用が減り、林業を行う人も減りました。そこで、村では都市部など他の区市町村と協力して、森を守り育てる取り組みを進めています。最近では、若い人たちの中にも森林に興味を持つ人が増えはじめ、林業に関わるケースも出てきました。



薪ストーブの利用を広めて 森林を育てる



檜原村では、化石燃料である石油やガスなどを燃やす暖房でなく、昔から使われている薪ストーブを広めるため、森林を手入れする中で発生する間伐材から薪を作って販売を始めました。村で使うエネルギーを村の資源でまかなう薪ストーブの利用は、限りある化石燃料の節約になるだけでなく、森林や自然を育て、守ることに繋がります。



見直そう！ 体験しよう！ 「薪のある暮らし」



檜原村では、村内にある豊富な資源をエネルギーとして使う方法として、薪の利用を進めています。薪を使うことに親しみを持ってもらい、山林の現状や薪に対する考え方を知ってもらうため、薪づくり体験や温泉入浴、森林見学を行うツアーや、薪を使う意味やヒントをみんなで考えるシンポジウムなど、いろいろなイベントを行っています。

